

八洲学園大学 中期計画(平成21～24年)

ビジョン2009	中期(4カ年)目標
大学	
・ビジョンを実現するための条件を整備する。	1. 学生増を図り、財政基盤を確立する。 2. 大学の体制を整備する。 3. 教授会と事務局の役割分担を明確にすると共に、協力関係を強化する。
(1)生涯学習学部	
・ライブ配信授業のパイオニアとして、遠隔大学教育の新たな道を拓いている。	1. 教育効果をより高めるために一層のシステム改良を行う。 2. eラーニング・システム活用の教授法・指導法のマニュアルを作成する。 3. eラーニング・ライブ配信のTipsを蓄積し、その情報を発信する。 4. 音声双方向と動画配信を行う。
・高度情報通信技術を積極的に取り入れて、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができる大学教育を提供している。	1. 携帯電話の利用を検討する。
・高水準の教育・研究体制を安定的に維持、推進し、人材養成を含む生涯学習の研究・教育における斯界の拠点となっている。	1. 生涯学習マネジメントの提唱を具現化する。
・多くの自治体、企業、大学、短期大学、専門学校、学術的な諸学会、諸団体などとの連携が広がっている。	1. 自治体との連携を図る。 2. 他大学とのインターネット・ライブネットワークを構築する。
・変化の激しい社会の需要に応えられる良質・柔構造の学部となっている。	1. 生涯学習学科の専攻を廃止し、グループ構成とする。 2. 大学拡張の組織を作る。 3. FD研修の充実をはかる。
・学生一人一人の学習ニーズや生活条件にあった学習支援を提供している。	1. 社会人対象の教育の個別化と問題解決型学習の確立・普及をする。②就転職支援体制を整備する。
・卒業生が各界で活躍し、卒業生を含め関係者が誇りをもてる大学になっている。	1. 同窓会や校友会組織が設立されていて、活発な活動が行われている。
(2)生涯学習学科	
・学外からの授業配信が実現され、国内・国外を問わず最適な教員が在任箇所から授業を行っている。	1. ポータブル教室を整備する。
・eラーニングを有効に利用して、変化の激しい社会の需要に応えられる多様な科目群や研修の機会を提供している。	1. 社会のニーズにあったユニークで魅力的な講座を開催する。
・オンラインユニバーシティ(データベース、eブック等)が構築されており、学生に提供されている。	1. 八洲学園大学レポジトリの構築を検討する。
・人材養成・生涯学習学が世界に発信できる成果をあげている。	次期中期計画
・「特別講義」などを生かし、時代の変化や個人のニーズに応えられる講義を提供している。	1. 各界の著名人、実力者による特別講義を開く。
・各界の実力者を特任教授などに任命している。	1. 必要に応じ特任教授を採用する。
・学生、卒業生が学んだ成果を生かして講座プログラム等を開設して互いに学べるプラットフォームを提供している。	1. 学生・卒業生による事業団を作る(ノンブローセミブロープロへの道)
・各地に設けられたヒューマンスポットでは、卒業生がインストラクターとなり、その地域の学生の指導に当たっている。	1. 自治体との協力を得て全国にヒューマンスポット拠点を設置している②事業団の中に人材バンクを作り、ヒューマンスポットを作る。
・教員・学生・卒業生が共に学んだり、学習成果を生かしたりする活動に取り組むために集うことができる拠点となっている。	1. 学生・卒業生による事業団を作る(ノンブローセミブロープロへの道)②eLyで卒業生が、学生・教員と交流できるシステム基盤の整備
・八洲学園内外で高大連携を進めている。	1. 学園内の高等学校と連携を進める。 2. 神奈川県・横浜市教育委員会との連携をはかる。
・教員免許更新講習等の国家的、社会的な要求に応じている。	1. 教員免許更新講習を実施し、年々受講者数を拡大する。
(3)人間開発教育専攻	
・eラーニングを有効に利用して、学生の要求に的確に対応している。	1. eラーニングに関する要求。課題、解決に亘る一貫した体制を作る。
・企業との連携が広がり、人材開発教育分野を拡張し、学生の要求に応じている。	1. 特定の企業と連携し、ニーズにあった科目、カリキュラムを提供している
・ビジネス・スクールが開講されている。	1. 本学のユニークな科目群によるビジネススクールを開催する。
・企業のコーポレート・ユニバーシティ(CU)の一翼を担っている。	1. 企業と連携しCUによる代替講座の実績を作る。
・社会人向け社会人基礎力のプログラムが提供されている。	1. 社会人基礎力に関連する科目群、カリキュラムの充実を図る。
・司書教諭の研修、学校司書の養成、研修のプログラムが強化され、発展している。	1. 図書館関係の関係団体の研修プログラムを学外団体と提携して実施する。
・人々のニーズに応える資格取得支援講座が提供され、資格・履修証明・科目修得認証等の取得サポート・プログラムが充実している。	1. 生涯マネジメントの強化を図る。 2. 資格・履修証明、科目修得認証等の分野の戦略的拡大を図る。(…士等) 3. 税財務・ファイナンシャルプランナー分野の履修証明を開設する。 4. 学校司書について、資格認証制度を、学外団体と連携して構想、実施する。
・正規の授業、短期カレッジで多様なプログラムが提供され、多種多様な研修機会がある。	1. 正規授業と短期カレッジ等を合わせた多種多様且つ一環性のある講座の提供と授業形態の多様性の強化、構築を図る。 2. 「税理士養成・家計ファイナンス基礎講座」、「21世紀グローバル国際経済と多国籍企業戦略」(仮)の二つの短期カレッジ開講を目指す。 3. 社会のニーズに応じた正規の授業を開設する。 4. 図書館関係の研修などの短期カレッジを定着させる。
・夜間・早朝・週末などを利用した短期カレッジを展開し、忙しい社会人の要望に応じている。	1. 授業形態の多様性の強化、構築を行う。
(4)家庭教育専攻	
・家庭教育とその関連領域に関心をもつ多様な人々のニーズに応じた専攻となっている。	1. 少子高齢化と家庭教育・家庭学習という観点から公開講座案及び科目名・授業内容見直し案を打ち出す。 2. 子どもの学力向上と家庭教育という観点から公開講座案及び科目名・授業内容見直し案を打ち出す。
・日本初の家庭教育専攻として、家庭教育支援(家庭・学校・地域の連携支援を含む)の分野で研究・教育とも特色ある位置を占めている。	1. 本専攻の教育・研究が家庭教育支援に貢献できる分野を明確に打ち出し、社会にアピールする。
・家庭教育支援の立場から地域スポーツ文化振興及びスポーツによる青少年育成に寄与できる人材養成プログラムを提供している。	1. 地域スポーツインストラクター基礎資格を有する家庭教育アドバイザー・家庭教育師を養成する。 2. 地域スポーツ文化インストラクター基礎資格取得者の研修の場を設ける。
・すでに家庭教育支援に携わっている人が活動を継続しつつ理論的基盤を固められる教育プログラムを提供している。	1. 短期で特定分野を深める学習プランを現開設科目の範囲内で提供する。 2. 家庭教育従事者のニーズに応じる授業内容案を打ち出す。
・家庭教育支援と連携可能な専門職にある人(看護師、助産師、保健師、栄養士、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、図書館司書の有資格者等)のニーズに応じた教育プログラムを提供している。	1. 科目名・授業内容の見直し案を打ち出す。
・家庭教育アドバイザー資格取得者(卒業生)のリカレント教育の場を提供している。	1. 事例研究を充実させる。 2. 家庭教育アドバイザー協会(仮称)と協力して実践的研修の場を設ける。 3. 家庭教育研究会に家庭教育アドバイザーの参加を求めて研究会を発展させる。
・社会人としての人間力を高める幅広い教養科目群を提供している。	1. 現行関係科目、公開講座の受講状況等を調査しつつ科目名・授業内容の見直し案を打ち出す。 2. 社会人としての人間力に関する独自の検定を実施する。
・ボランティア活動に関心をもつ高齢者のニーズに応じた科目群を提供している。	1. ボランティア関係の公開講座を継続的に開催する。 2. ボランティアに関する科目修得認証等を設ける。
・高齢化社会のニーズに応じた健康管理関係科目・教養科目群を提供している。	1. 現行の関係科目・公開講座の受講状況等を調査し、科目名・授業内容の見直し案を打ち出す。 2. 高齢者の関心を寄せるような独自の検定を実施する。
・公開講座の成果を教育プログラムに反映させるなどして社会の変化に柔軟に対応している。	1. 公開講座の受講状況、受講者アンケート等を分析する。 2. 授業内容を柔軟にアップデートできる科目名の案を打ち出す。 3. 学期ごとに集中講義を外部講師に依頼できる科目設定を立案する。
・家庭教育専攻の教育課程を終えた家庭教育支援者(家庭教育アドバイザー・家庭教育師資格取得者)が活躍の場を広げるとともに社会的に高く評価されている。	1. 家庭教育アドバイザー協会(仮称)の結成を促し、家庭教育アドバイザー資格取得者の研鑽と情報交換の場を確立する。
・家庭教育支援従事者間で情報交換・人的交流をおこなうネットワークを形成する拠点となっている。	1. 上記の家庭教育アドバイザー協会と家庭教育研究会を連携させることによって、大学に拠点を形成する。
・行政、家庭教育にかかわる他団体等との連携の範囲を広げている。	1. 日本家庭教育学会との連携を深める。 2. 神奈川県教育委員会との連携を推進する。 3. 親学推進協会との連携を推進する。 4. その他の民間教育団体・サークル等との連携を開拓ないし発展させる。
・企業等との連携によりインターンシップ制度を導入している。	次期中期計画
・保育系短期大学・専門学校と連携し、保育士資格を有する短期大学卒業者を編入生として受け入れている。	1. 首都圏の保育系短期大学と連携する。